

1 目的

通常のイチゴ栽培は、収穫や栽培管理など腰を曲げる作業が多いため、作業効率が悪い。この問題を解消するため、近年、高設栽培を行う農家が増えてきたが、初期投資が400万円/10a程度必要と言われている。そこで、簡易な高設ベッドを製作することで初期投資を抑えることができるか、また栽培管理経費を抑えるために、暖房機を使用しない高設栽培ができるか、調査することにした。



【写真1 高設ベッドの制作の様子】

2 実施状況

(1) イチゴの種苗生産

品種はこれまで本校で栽培していた「とよのか」を使用した。

5月下旬まで鉢受けし、製作した高設ベッドで栽培した。



【写真2 高設ベッドでの栽培】

(3) 温水かん水による栽培

暖房機を使用しない栽培を行うために、20℃の温水をかん水して栽培を行った。12月中旬から収穫することができたが、1月中旬から樹勢が弱くなった。



【写真3 収穫前の様子】

3 今後の課題、取り組み

- 電照栽培や電熱線による株元加温を取り入れた栽培
- かん水装置の改良